（様式１）

平成２４年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

１１８	**提案機関名**	神奈川県内水面養殖業者協議会

要望問題名

県産人工アユの改良

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）　】

現在、県の内水面種苗生産施設で生産しているアユを養殖に使用した場合、海産稚アユの場合と比較すると成熟時期が早く、活魚としての販売期間が短くなります。

これを解消するため、県産人工アユ種苗の改善を図っていただきたい。

解決希望年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター　②畜産技術センター　③水産技術センター ④自然環境保全センター
備　考	

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	**担当部所**	内水面試験場

対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可

試験研究課題名　（①、②、④の場合）

対応の内容等

現在内水面種苗生産施設で生産しているアユは、継代数が34代の親魚から採卵した卵から飼育しています。長期継代種苗のメリットとしては、産卵期が早く飼いやすい性質のため、早い時期に大きな種苗を安定して供給できる特徴があります。

成熟時期を遅らせるためには親魚を入れ替える必要があることから、早急にはできませんが、親魚の短期継代化及び継代していない親魚を用いた種苗生産試験を実施し、一部の養殖種苗を試験的に提供できるようにしていきたいと考えています。

新しい親魚を用いた種苗は従来の種苗に比べて飼いにくくなると思われますので、試験飼育により、新しい種苗の情報提供をいただきながら対応策を検討していきたいと考えております。

解決予定年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
備　考	